はるっこだより

病児保育所 はるっこ
2017 夏号
2017.7.7.

七飯町 本町6丁目7-42
はるこどもクリニック隣
はるっこ ☎0138-65-1500

朝 窓をあけると、青い空には夏の雲。そう言えば、毎日みる景色だけれど、空の色や雲の形は一日として同じ日はないんだね。やって来ました！北海道の夏 一日いちにちを満喫したいですね。はるっこ畑には キュウリやトマト、ゼニアオイの赤ちゃんを見に、クリニック帰りの親子がやって来ています。生長していくのを、楽しみにしていてくださいね♪

はるっこ ある日のスナップ

はるっこの日常のひとこまをお伝えします

4才Aさん
ままごとしながら お皿に気に入ったように並べられると
「なんかいいね♪」
すてきな言葉♪

5才Bさん
おり紙に絵を描きながら
「むらさきがキゲンがいいね♪」

6才Cさん
ひらめきから言葉あそびになりました。
つつじ→ひつじ→しつじ
保育士「ん？しつじって何だ？」
Cさん「王様についてる人」
なーるほど！

5才Dくん
保育士が「Dくんのお家どこにあるの？」と尋ねると、
Dくんは「こーいってこーいって まがって…」と手振りで教えてくれました。
保育士が更に「近くに何か(目印)ある？」と聞くと、
「あるよ お花、たんぽぽ」
まっすぐな瞳で教えてくれました。

1才Eくん
保育士の水筒
「の・む」と言って、自分の棚からマグカップを取り出し飲んでいたEくん。「ゴニョゴニョ」とまだ何か言いながら、棚と保育士を指さしています。「あっ！一緒にかんぱーいするの」ときくと、ニヤッと笑い、嬉しいように マグカップと水筒で乾杯です♪
一生懸命に伝えようとしてくれていたんですね。

3才Fくん
ままごと
Fくん「よかったらアイスどうぞ」
保育士「ありがとう！」
Fくん「いいえ どういたしまして」
保育士「おいしいねぇ」
Fくん「でしょーっ！Fちゃんがつくったからあー！」

5才Gくん
窓の外を見ながら
「クローバーが水の透明なのがついてキラキラしてみえる」
「雨の日だからみえるんだ！」
キラキラした光がみえる キラキラの心♪

1才Hくん
玄関のところまで嬉しいように ハイハイで タッタッタ…と向かっていきました。けれど目の前でゆっくり戸が閉まりました。Hくんは ちょっとあきらめたように止まって戸をみつめていました。すると戸が少し開きました。そして また閉まりましたが、今度は Hくんの手が入れるくらいすきまがあいてます。Hくんは少し考えたあと、そっと手を伸ばしました。そして戸が開いて、向うの景色がみえた時、Hくんはぱぁっと明るい表情になりました。そして、自分がやっと通れるくらいあけると、ハイハイで出て行きました。まさしく、自分で世界を開けた瞬間の、輝いた表情をみせてもらえた気がします。

2才Iくんは、お散歩で フェンス越しの犬にどんどん近づいて行きます。犬はワンワン、ほえています。保育士は少しはなれたところから、「ちょっと怖いっ」とも言いました。すると Iくん「大丈夫！」ですって。これ、いつも保育士がIくんに言ってる言葉を、その時 Iくんは保育士に言ってくれました。

今日は七夕。絵本「おこだてませんように」を一人でみてたらなんだか涙が。宇宙船の子どもたちの夢、叶いますように♪